



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場会社名 日本トランスシティ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 9310 URL <https://www.trancy.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 安藤 仁

問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 加藤 りつ子 (TEL) 059-363-5211

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	31,002	2.4	2,105	12.1	2,500	2.0	1,632	△0.1
2025年3月期第1四半期	30,282	△4.1	1,878	6.0	2,451	13.3	1,634	11.7

(注) 包括利益2026年3月期第1四半期 1,342百万円 (△54.4%) 2025年3月期第1四半期 2,944百万円 (4.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	26.12	-
2025年3月期第1四半期	25.73	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	163,662	95,455	55.7
2025年3月期	165,411	95,574	55.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 91,220百万円 2025年3月期 91,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	16.50	-	22.50	39.00
2026年3月期	-	-	-	-	-
2026年3月期（予想）	-	18.50	-	19.00	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	63,700	3.4	3,900	△3.4	4,400	△8.0	3,100	△2.9	49.13
通 期	126,000	1.0	7,500	△3.9	8,300	△5.8	5,800	△4.0	91.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は、【添付資料】9ページ「2. (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	67,142,417株	2025年3月期	67,142,417株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	4,635,977株	2025年3月期	4,635,923株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	62,506,467株	2025年3月期1Q	63,545,128株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の決算の概要は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	30,282	31,002	720	2.4
営業利益	1,878	2,105	226	12.1
経常利益	2,451	2,500	49	2.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,634	1,632	△2	△0.1

(経済環境)

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エネルギー価格が依然として高い水準で推移し、為替変動の影響があったものの、個人消費は緩やかな回復傾向となりました。製造業では、自動車を中心に一部で持ち直しの兆しが見られ、全体として安定した推移となりました。民間設備投資は、省力化・デジタル対応を背景に堅調に推移し、非製造業を中心に景気を下支えしましたが、米国の通商政策や地政学リスクなどにより、先行きの不透明な状況が続きました。

(事業環境)

製造業では生産活動の持ち直しを背景に、一部で回復の兆しが見られました。自動車関連を中心に輸出入貨物の荷動きは堅調に推移し、国内物流需要も比較的安定しました。また、EC市場の拡大など新たな物流需要が継続し、物流業界全体としては堅調を維持しました。

(業績状況)

当社グループは中期経営計画に基づき、収益基盤の拡充によるトップラインの向上、TRANCYグループの経営基盤の強化、ESG経営／サステナビリティの取組み推進を図ることで、業績の確保に努めてまいりました。具体的な取組みとして、本年2月に開設された関東エリアにおける自動車部品取扱専用センターを5月より本稼働いたしました。また、新規拠点として、北海道石狩市の新物流センターおよび三重県木曽岬の危険品複合センター稼働に向けた準備を進めております。

- ・売上高は、自動車部品取扱専用センターの安定稼働、医療介護用食品専用センターやタイ現地法人の新倉庫の稼働が寄与し、前年同期比増収。
- ・経常利益は、持分法による投資利益、為替差益などの減少により利益幅は縮小したものの、前年同期比増益。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益などが減少し、前年同期比減益。

セグメント・主要部門ごとの経営成績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高		前年同期比	
	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率 (%)
総合物流事業	29,742	30,500	758	2.5
倉庫業	12,810	13,407	597	4.7
港湾運送業	5,121	5,340	219	4.3
陸上運送業	4,831	4,929	97	2.0
国際複合輸送業	6,564	6,411	△152	△2.3
その他	415	411	△3	△0.9
その他の事業	540	502	△37	△6.9
合計	30,282	31,002	720	2.4

セグメント・主要部門ごとの取扱等の状況は、次のとおりであります。

(総合物流事業)

- ・倉庫業は、前年同期に比べ、期中平均保管残高は0.9%減少(53万8千トン)、貨物取扱数量は2.4%減少(218万7千トン)、保管貨物回転率は67.7%と低下。
- ・港湾運送業は、前年同期に比べ、四日市港における海上コンテナの取扱量は5.2%増加(5万1千本(20フィート換算))、完成自動車の取扱量は減少、石炭・オイルコークスの取扱量は増加。

- ・陸上運送業は、前年同期に比べ、主力のトラック輸送の取扱量は1.8%増加（152万2千トン）、鉄道輸送の取扱量は2.2%減少（3万3千トン）、バルクコンテナ輸送の取扱量は5.6%減少（5万2千トン）。
- ・国際複合輸送業は、前年同期に比べ、海上輸送の取扱量は21.2%増加（589万トン）、航空輸送の取扱量は0.4%増加（314トン）海外現地法人における取扱量は減少。
- ・その他は、前年同期に比べ、場内における附帯作業の取扱量が減少。

（その他の事業）

- ・自動車整備業は、前年同期と比べ、車検取扱台数は2.4%減少。
- ・ゴルフ場は、前年同期と比べ、入場者数は4.7%減少。
- ・建設事業は、前年同期と比べ、完成工事件数は9.0%増加。

（2）当四半期の財政状態の概況

①連結財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ17億4千9百万円減少し、1,636億6千2百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の減少を主な要因として25億3千1百万円減少し、固定資産は、投資有価証券の増加を主な要因として7億8千2百万円増加しました。

負債は、未払法人税等の減少を主な要因として前連結会計年度末に比べ16億3千万円減少し、682億6百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億1千8百万円減少し、954億5千5百万円となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は21億8千7百万円減少し、四半期末残高は246億5千4百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において、営業活動の結果増加した資金は15億8千3百万円（前年同期比18億1百万円の収入減）となりました。これは主に、法人税等の支払額14億2千2百万円、未払又は未収消費税等の増減額6億2千4百万円等による減少があったものの、税金等調整前四半期純利益24億9千8百万円、減価償却費13億1千3百万円の資金留保等による増加の結果であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において、投資活動の結果減少した資金は16億1百万円（前年同期比6億7千万円の支出増）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出15億6千9百万円による減少の結果であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において、財務活動の結果減少した資金は17億9百万円（前年同期比8億4千8百万円の支出増）となりました。これは主に、配当金の支払額14億6百万円による減少の結果であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績につきましては、2025年5月13日に公表しました第2四半期累計期間および通期の業績予想は変更しておりません。

なお、今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には、開示基準に従って速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,033	24,836
受取手形、営業未収金及び契約資産	17,336	16,933
棚卸資産	270	267
その他	2,266	2,337
貸倒引当金	△81	△81
流動資産合計	46,825	44,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,176	38,926
土地	35,119	35,105
その他（純額）	8,481	8,813
有形固定資産合計	82,777	82,845
無形固定資産	1,005	1,283
投資その他の資産		
投資有価証券	25,366	25,828
その他	9,446	9,420
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	34,803	35,240
固定資産合計	118,586	119,369
資産合計	165,411	163,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	10,132	9,789
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	1,938	1,932
未払法人税等	1,514	841
賞与引当金	1,321	740
その他	4,306	4,346
流動負債合計	19,314	17,751
固定負債		
社債	8,000	8,000
長期借入金	27,253	27,118
再評価に係る繰延税金負債	3,782	3,782
退職給付に係る負債	2,022	2,071
長期預り保証金	1,941	1,916
その他	7,523	7,567
固定負債合計	50,523	50,455
負債合計	69,837	68,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,428	8,428
資本剰余金	6,879	6,879
利益剰余金	67,797	68,024
自己株式	△2,642	△2,642
株主資本合計	80,462	80,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,056	8,468
土地再評価差額金	△1,522	△1,522
為替換算調整勘定	2,104	1,546
退職給付に係る調整累計額	2,090	2,038
その他の包括利益累計額合計	10,729	10,531
非支配株主持分	4,382	4,235
純資産合計	95,574	95,455
負債純資産合計	165,411	163,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	30,282	31,002
売上原価	26,553	27,044
売上総利益	3,728	3,957
販売費及び一般管理費	1,850	1,852
営業利益	1,878	2,105
営業外収益		
受取利息	8	13
受取配当金	214	312
持分法による投資利益	155	95
為替差益	205	—
その他	40	29
営業外収益合計	624	450
営業外費用		
支払利息	39	37
社債利息	10	10
為替差損	—	5
その他	2	2
営業外費用合計	52	55
経常利益	2,451	2,500
特別利益		
固定資産処分益	11	1
投資有価証券売却益	123	—
特別利益合計	135	1
特別損失		
固定資産処分損	4	4
特別損失合計	4	4
税金等調整前四半期純利益	2,581	2,498
法人税等	788	785
四半期純利益	1,792	1,713
非支配株主に帰属する四半期純利益	158	80
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,634	1,632

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,792	1,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	825	416
為替換算調整勘定	358	△704
退職給付に係る調整額	△52	△51
持分法適用会社に対する持分相当額	19	△30
その他の包括利益合計	1,152	△371
四半期包括利益	2,944	1,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,752	1,436
非支配株主に係る四半期包括利益	192	△93

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,581	2,498
減価償却費	1,329	1,313
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△583	△577
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	38	45
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△50	△41
固定資産処分損益 (△は益)	△6	2
受取利息及び受取配当金	△223	△325
支払利息及び社債利息	49	47
持分法による投資損益 (△は益)	△155	△95
売上債権の増減額 (△は増加)	△115	251
仕入債務の増減額 (△は減少)	△516	△256
未払又は未収消費税等の増減額	1,365	△624
その他	△375	270
小計	3,336	2,508
利息及び配当金の受取額	457	550
利息の支払額	△53	△53
法人税等の支払額	△356	△1,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,384	1,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△882	△1,569
有形及び無形固定資産の売却による収入	11	5
その他	△60	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△931	△1,601
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△291	△141
配当金の支払額	△444	△1,406
その他	△124	△161
財務活動によるキャッシュ・フロー	△860	△1,709
現金及び現金同等物に係る換算差額	344	△459
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,936	△2,187
現金及び現金同等物の期首残高	21,507	26,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,444	24,654

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他の事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	総合物流事業				
売上高					
外部顧客への売上高	29,742	540	30,282	—	30,282
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	322	322	△322	—
計	29,742	862	30,605	△322	30,282
セグメント利益	1,741	141	1,882	△4	1,878

(注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業・建設業・損害保険代理店・自動車整備・ゴルフ場等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引消去△4百万円によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他の事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	総合物流事業				
売上高					
外部顧客への売上高	30,500	502	31,002	—	31,002
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	426	426	△426	—
計	30,500	929	31,429	△426	31,002
セグメント利益	1,959	155	2,114	△9	2,105

(注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業・建設業・損害保険代理店・自動車整備・ゴルフ場等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△9百万円は、セグメント間取引消去△9百万円によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。